



とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1893



かもめ 提供：宮内宗一会員

第1893回 例会 平成23年1月25日

点 鐘 … 杉浦 武 会長

ロータリーソング … 手に手つないで

来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 杉浦 武 会長

御 祝 披露 … 杉浦 武 会長

誕 生 祝 … なし

結婚記念日 … 木村 貞夫 会員(1月21日)

杉浦 武 会員(1月24日)

入会記念日 … なし

幹 事 報 告 … 長谷川 弘 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「スピーチコミュニケーションについて」

NPO法人

国際教育推進プロジェクトBeCOM

武内 達彦 氏

出 席 報 告 … 出 席 委 員 会

来週のプログラム(平成23年2月1日)

卓 話

「親睦委員会」 澤井 博 会員

お食事「ミヤタ」



地域を育み、大地をつなぐ

2010~2011 年度 RI 会長 レイ・クリンギンスミス

(Ray Klinginsmith)

第 1892 回例会(平成 23 年 1 月 18 日)

会長挨拶

杉浦 武

本日は恒例であります銚子ロータリークラブ、銚子東ロータリークラブ、両RCの合同例会です。本年は東クラブが担当です。両RCを代表いたしましてご挨拶申し上げます。



本日の講師は国際ロータリー2790 地区ガバナー、織田吉郎様より講演を頂きます。ガバナーにおかれましては、昨年上期では、地区のさまざまな行事、84 クラブの公式訪問、そして 11 月の地区大会と過密なスケジュールを済ませほっとしていると思われませんが、それもつかの間下期に入り地元でのすぐの行事、体の休まる間もなく大変申し訳なく思っております。しかしガバナーは強靱な体力の持ち主と拝察いたしております。後ほど「クラブの「常識」を見直そう」というテーマで卓話を頂戴いたします。宜しくお願い致します。

1 月は、『ロータリー理解推進月間』です。ロータリーの知識と理解を会員に一層深めてもらい、同時に、ロータリー以外の一般市民にもロータリーのことを知ってもらう為のプログラムを実施する月間です。

ロータリーは、多様な側面を持つ大きな組織です。国際ロータリーは世界初の奉仕クラブ団体であり、200 以上の国と地域に 33,000 近くのクラブを擁しています。事業、専門職務分野、地域社会のリーダーである会員が、世界的なネットワークを形成し、地域社会のために、また世界のために、時間と能力を傾けて奉仕しています。ロータリーの標語である「超我の奉仕」は、120 万人以上の会員を誇る組織の人的精神をよく言い表しています。またロータリアン同士の親睦と、有意義な社会奉仕や国際奉仕プロジェクトは、世界中でロータリーの特徴となっています。多岐にわたる豊かな伝統と組織機構の下、ロータリーには、新会員はもとより年数を重ねた会員でさえ戸惑うことがあるほど多くのプログラムがあります。基本的なロータリー教育、すなわち、すべての会員にロータリーについて理解してもらい、ロータリアンであることを誇りに思い活動していきたいです。

2 月 26 日、旭RCがホストクラブとなり、IM (インターシティーミーティング) が開催されます。大勢の会員皆様に参加をお願いします。

終わりに本日、大勢の会員の皆様に参加いただき厚く御礼申し上げます。両RCの発展と、友情と親睦を深めながら、今宵時間の許す限り楽しんでいただきます様、お願い申し上げます。挨拶と致します。

幹事報告

- 1・R I 日本事務局より
2010 年手続要覧 受領
- 2・ガバナー事務所より
ハイライトよねやま 131 受領
- 3・銚子商工会議所より
平成 23 年新春講演会への出席確認について 受領

4・成田RCより

創立 50 周年記念式典並びに祝賀会のご案内 受領

5・ロータリーの友事務所より

決算ご報告 受領

☆週報受領 波崎RC 旭RC

卓話

「クラブの「常識」を見直そう」

R I 2790 地区 ガバナー 織田 吉郎 氏

皆さん新年明けましておめでとうございます。昨年、特に地区大会において本当にお世話になりました。お陰様で多くの方々にとってもよい大会だったと言っていました。ありがとうございました。



さて、私は昨年 7 月末から 4 ヶ月をかけて地区内全 84 クラブの公式訪問を実施しました。この公式訪問で私は「自分のクラブは自分で守る」というテーマで国際ロータリーの打出すスタンダードに流されることなく伝統や文化や情緒を大切にしたい独自の個性あふれるクラブ運営をしてほしいと訴えてきました。私には考えていた以上にこの訴えは理解してもらえたように思います。

この訪問で得たクラブのデータをまとめてみるとこの 10 年間厳しい経済環境の中で会員を減少させていないクラブが 7 クラブあることがわかりました。それらのクラブは運営も活気にあふれていて順調そのものです。残る 77 クラブは会員を減少させています。この中で半数以下に減少させたクラブが 6 クラブあります。銚子東クラブは残念ながら 51%の減少で、この 6 クラブの中に入っています。銚子クラブは 36%の減で地区内多くのクラブと同様苦戦しています。しかし会員の減少が即危機というわけではありません。残った会員が活力あふれる人々であれば問題ないわけです。

公式訪問を通じて得た多くのデータによって、クラブにとって 1 番危険なのは平均年齢の高齢化、2 番目は出席率の低下、3 番目は事務局依存体質、4 番目は奉仕活動の沈滞だと私は考えています。これらが危険域に入っていないかはいずれクラブは立ち直ってゆくでしょうし、これらの数値が問題であれば改善が必要となります。
① 平均年齢は 65 才を境に急激にクラブは力強さを失ってゆくように思います。

ロータリークラブは世代を超えて例会を楽しむことが基本ですから、必ずしも平均年齢が高いことだけが問題だというわけではありません。高齢者が退会すれば平均年齢は下がりますがこういう型で下がるのはクラブにとって決して良いことではありません。若い人が入会してバランスをとり、そして先輩から後輩にクラブの伝統が正統に受け継がれてゆく、それがあべき姿です。ロータリーは 120 万人を超える会員を擁する巨大組織になったから 105 年の歴史を刻んでこられたわけではありません。世代を継いできたから今があるのです。そう考えるとク

ラブの平均年齢に無頓着ではられません。また、各クラブをまわってみて、平均年齢 65 才を境に奉仕活動が急激に不活発になってゆくことに気がきました。例会に参加することだけがロータリーの活動の全てになり、若い会員はこれに満足できずに退会してゆくのです。

② 次に出席率です。

現在日本全地区の出席率は平均 86.4%ですが 2790 地区は 34 地区中、下から 4 番目の 82.03%です。第 7 分地区で日本の平均を上回っているのは銚子クラブの 90.4%だけです。銚子東クラブは 84.5%で地区平均を上回っています。ロータリーの死命線は例会ですから、その出席率が大切なことはいまでもありません。出席は会員の権利であると同時に義務なのだということを徹底すること、そして銚子と銚子東はメイクアップ・フィーを相互に取らないことでメイクアップしやすい環境作りをすることが望まれます。

③ 次に危険なのは事務局依存体質です。

事務局を持たないクラブは 8 クラブですが年間 50 万円未満の事務員給与で運営しているクラブが 10 クラブあって、全体の 20%のクラブが会員の自力で運営をしていることとなります。また、半数のクラブが 100 万円未満です。特筆すべきは勝浦クラブで 43 人の会員を擁する中型クラブですが事務局を持っていません。全て幹事がまとめています。入会 4 年目で幹事をするのが決まっています。会員歴 4 年以降の会員はここ 10 年間 1 人も退会していないのだそうです。そして幹事経験者がクラブに分厚い層を作っていて、会員同士がのびのびと例会を楽しみ、奉仕活動に汗するメリハリの利いた運営をしています。ちなみに、200 万円以上支出しているのは 84 クラブ中わずかに 6 クラブ。全体の 7%しかないので銚子・銚子東両クラブがこの中に入っています。私は公式訪問で「脱事務局」を訴えてきました。国際的に見ても 100 名未満の中規模クラブが事務局を構えているのはほぼ日本のみといってもそう外れていないのだそうです。脱事務局へ向けて具体的に動き出したクラブも 5 クラブあるときいています。

④ 奉仕活動の沈滞について

ロータリーは職業奉仕を目的とする団体、それはロータリーの綱領を見れば一目瞭然です。では社会奉仕や国際奉仕をどう位置づければよいのでしょうか。各クラブを見てゆく中で感じたことは、クラブに理論的指導者がいて職業奉仕に対する心棒を持っているクラブほど、社会・国際奉仕活動に熱心だということです。

米山梅吉さんは「ロータリーは奉仕する団体ではない。奉仕する人の団体である」と言いましたがではクラブは何もしなくても良いのかということではありません。会員同士が心を 1 つにして奉仕活動をすることで小さな達成感や感動を共有する、それを通じて会員の親睦がより一層本質的なところで深まってゆき相互にこころを磨いてゆくことができる。それが本来の目的である職業奉仕につながって行く……ロータリーはそう考えている団体です。社会奉仕や国際奉仕に熱心なクラブがロータリー理論にも開かれた姿勢をもっていることが理解でき

ます。

先の大阪で行われたロータリー研究会で R I 会長レイ・クリンギンスミス氏は会員増強についてはっきりした方針を提案しました。それは「若い人達に入会してもらうためには若い人達による新しいクラブを結成するのがより簡単な方法だ。アメリカではとても上手くいっている。そしてこれからこういうクラブが増えてゆくだろう」というものです。実は私もそう考えていたこともありまして、銚子にいる何人かの若い人達に話をしてみました。入会金 1 万円、年会費 6 万円くらいで若い人主体のクラブを作ったらどうだろうか。あたりは決して悪くはありません。しかし、途中で考え方を改めました。もし銚子でこうした第 3 のクラブを作ったら、第 1、第 2 のクラブの老齢化が促進されてゆくことになってしまうだろう。銚子・銚子東両クラブで将来像を練り上げ、戦略的な位置づけを確定してからでなければ安易に第 3 のクラブを作ることはできないと思ったのです。

これは銚子に限ったことではないのですが、同一地域にある複数クラブが不思議なことに皆同じようなクラブ運営をしています。同じような年会費、同じようなクラブ細則、昼間の例会、違うのは例会の曜日だけ。これでは入会予備軍の人々にとって選択肢が少なすぎます。つまり「対象の論理」で考えていないのです。また、こうしたクラブ間の競合ではどうしても歴史の長いクラブに軍配が上がっています。長引く不況の中で多くの年会費を払うことに躊躇があったり、仕事を抜けて背広に着替えて例会に行くことに抵抗感のある人は特に若い人々の中に多いようです。それなら例会を朝 7 時からにしたり、食事を含まない夕方 5 時から 6 時までとするなどによって会費問題と時間問題をクリアすることがあっても良いと思うのですが、今のところ当地区にはそれがありません。2 つあるクラブがそれぞれ差別化を進めることが入会希望者にとってはそれだけ選択肢が広がるということにつながります。食事をやめ、事務局を無くすことができれば銚子クラブで 1 人当たり 10 万円。銚子東クラブで 1 人当たり 11 万円の減額となります。現行の銚子の年会費 18 万円を 8 万円に、銚子東の年会費 17 万円を 6 万円にすることが可能だということです。ちなみに日本のクラブで最も低い年会費は 5 万円です。

野田セントラルクラブの公式訪問の席にアメリカのクラブに入会している会員がメイクアップに来ていました。食事をしながら雑談をしていたのですが「年会費はいくらですか？」と聞いたら「そういうのはありません。毎月 60 ドルを払ってそれで食事から会報まで全て賄います。」とっていました。年 6 万円です。食事付、会報は幹事が作ってメール発信します、とのこと。「アメリカのクラブは大体そんなものですよ」と言っていました。クリンギンスミス会長も例会から食事を抜くことを提案しています。また次々年度 R I 会長の田中作次さんは日本人の平均的昼食費を考慮して特別な食事をやめようと提案しています。いずれも会費をなるべく低めに設定すべきであるという視点に立っています。銚子地区の経済環境が上向きになることは当面考えずらい中で思い切ってこ

これまで私達が作ってきた「常識」を打ち破って若い会員が入会しやすい環境作りをしようではありませんか。ロータリーは企業活動や人生に奉仕の理念を導入し、育んでゆこうという運動です。単なる功なり名を遂げた人々の昼食会ではありません。私は年会費をハードルと考えて、ハードルを高く設定してそれを越えてくる人なら誰でも拒まないという「高いハードル、低いプライド」というこれまでの増強を見直して、会費を出来る限り下げて若い人が入会しやすい環境を作る一方で良い人でなければ入れないという「低いハードル、高いプライド」にしてほしいと訴えてきました。

私は入会して少し経って、R I が本格的にポリオ撲滅一色に染まってゆくを見て、ロータリーの将来はおそらく次の3つのうちどれかの道を進んでゆくことになるのだろうと考えていました。

- 1つ目の道は・・・再び職業奉仕を大切にする、つまりはロータリーの綱領を大切にしておもてなしの道へ戻る
- 2つ目の道は・・・ライオンズクラブと合流してボランティア団体として一大勢力を作る
- 3つ目の道は・・・各国各地区が自治の幅を広げて半独立組織となりR I は連邦政府の役割を果たす

今、1つ目の王道は既に望むべくもない状態となりました。11年に及ぶエド・フタ事務総長は決定的にロータリーを変質させてしまいました。今年7月1日からジョン・ヒューコ氏が就任しますがあまりにも荒れすぎたR I を正常化してゆくことは難しいでしょう。今、R I が突き進んでいるのは間違いなく2つ目の道、ボランティア団体化への道です。エンド・ポリオ・ナウキャンペーンではっきりとトップダウンの型を既成事実化し、CLPで世界中のクラブを均質化することでボランティア団体としての生産性を高めようという試みは着々と世界中のクラブに浸透しています。私はかくなる上は3番目の道、日本のロータリーは半独立してロータリー連邦の一員として強い自治権を持つ、日本のロータリーが生き残る道はこれしかないと考えています。この方向に賛成してくれそうなのはイギリス（もともとR I B Iとして半独立）ドイツ、イタリア、フランス、スイスをはじめヨーロッパの国々です。しっかりとロビー外交を重ねてなるべく近い将来連邦制へ移行できるよう日本のR I 理事に頑張ってもらいたいと願っています。

第7回定例理事役員会

日時：平成23年1月18日（火）17：30～

議 題

- 1・2月例会スケジュールの件 承認
- 2・年末家族親睦会収支決算書の件 承認
- 3・第7分区I. Mの件 承認
- 4・RYLAの件 承認
- 5・2010 - 2011 年度委員会構成変更の件 承認
- 6・千葉科学大学RAC2009-10年度会計報告の件 承認
- 7・2010-11 年度一般会計収支決算書の中間報告

2月例会スケジュール

- 第1例会 2月1日
卓話「親睦委員会」 澤井 博 会員
- 第2例会 2月8日
卓話「未定」 榊子タクシー 吉原 正巳 氏
- 第3例会 2月15日
卓話「未定」 安部 明 氏
- 第4例会 2月22日
卓話「振り込め詐欺の現状と予防策」
銚子警察署 生活安全課 課長 後藤 昭広 氏

前回の例会(1/18)報告

点 鐘 杉浦 武 会長

出席報告

会員総数	32 名	出席規定除外数	9 名
出席者	32 名	出席率	100 %
12月21日		確定出席率	100 %

来訪ロータリアン

堀米秀和君 伊藤浩一君 島田洋二郎君(銚子RC)

欠席者 なし

メイクアップ

澤田君 (1/19 銚子RC)

杉浦君 (1/22 第7分区会長幹事会)

スモールコインBOX

累計 ¥ 45,905-

ニコニコBOX

累計 ¥339,000-

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 杉浦 武 副会長 木村 貞夫 幹事 長谷川 弘

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 吉田 孝至・石上 明宏・大内 恭平・山本 幸男

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。